フォーラム日程

KUMAMOTO

時	11/22 (木)	11/23 (金)	11/24 (土)
8		8：00 朝食	8：00 朝食
9		**安全管理者研修**	9：00 ～ 11：45 **全体会②** 自然体験活動の価値ってなんだろう?
10		9：00 ～ 12：00 ・自然体験活動における安全管理－1 ＊主にNEALコーディネーターを対象	
11		・自然体験活動における安全管理－2 ＊主にNEALインストラクターを対象	
12		12：00 昼食	12：00 まとめ・閉会式
		12：30 第二部受付	12：30 解散
13	13：30 第一部受付	**第二部** 13：00 開会式	
14	**第一部**	13：20 **全体会①** 好きを極めた人たちのトークライブ	
15	14：00 ～ 17：00 **自然体験活動上級指導者研修** ＊主にCONEトレーナー、NEAL主任講師を対象	分科会－Ⅰ 15：00 ～ 18：40 / 分科会－Ⅱ 15：00 ～ 16：40 / 分科会－Ⅲ 17：00 ～ 18：40 / 分科会－Ⅳ 18：00 ～ 19：30	
16			
17	17：00 夕食		
18	18：00 ～ 19：30 **保険と事故事例研究** ＊主にCONE包括保険加入者を対象	19：15 入浴	
19			
20	20：00 情報交換会（任意）	20：00 夕食・**情報交換会**	

平成３０年度全国自然体験活動指導者集会
全国キャラバン開催会場情報

ラップアップフォーラム 平成 31 年 3/15(金)～16(土) 国立オリンピック記念青少年総合センター

全国キャラバンの参加者やスタッフ、会場施設職員を対象に開催する1年間を集大成するフォーラムです。是非、ご参加ください。

National Institution For Youth Education
NIYE 国立青少年教育振興機構
「子どもゆめ基金助成活動」

体験の風をおこそう

平成30年度 子どもゆめ基金助成活動
全国自然体験活動指導者集会 **全国キャラバン**

自然体験活動フォーラム in 阿蘇

自然体験活動は次世代へ

自然と人と社会をつなぐ

平成29年度に引き続き、全国の国立青少年教育施設を会場に自然体験活動指導者（NEAL）をはじめ、アウトドア大好き人間や教育関係者、学生から社会人までと幅広い参加者を対象に「自然体験活動フォーラム」を開催します。
昨年度は「自然体験活動とアクティブラーニング」をサブテーマとしましたが、今年度は「自然体験活動の社会的価値とは何か、どのように高めるか」という視点で自然体験活動の普及促進へ向けてのディスカッション、SDGs や発達障害等をテーマとする分科会、新たな気づきを得るための体験活動等が開催されます。
また、第一部では第二部のフォーラムに先立ち、様々な指導者研修講座が開設されますので、併せてご参加ください。

- と　き：平成30年 **11/22(木)・23(金)・24(土)**
  第一部 22(木)14：00～23(金)12：00 ／ **第二部** 23(金)13：00～24(土)12：30
- ところ：**国立阿蘇青少年交流の家**
  熊本県阿蘇市一の宮町宮地 6029-1
- 対　象：自然体験活動に興味ある人は、どなたでも。NEAL指導者大歓迎!
- 参加費：
  第一部 各講座、別途参加費が必要です。
  第二部 11/23・24 に参加 **4,000 円**（学生 **3,500 円**）
  1 日のみ参加 **3,000 円**
  ※別途、夕食・情報交換会費 3,000円、朝食・茶菓子代 500円が必要です。

熊本会場
お申し込みはコチラから
www.cone.jp

主催：NPO 法人 自然体験活動推進協議会（CONE）
Council for Outdoor & Nature Experiences
〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町 3-1 国立オリンピック記念青少年総合センター内
TEL 03-6407-8240 FAX 03-6407-8241 E-mail info@cone.jp 問い合せ時間：月～金曜日 10：00～17：00

後援：文部科学省、国土交通省、農林水産省、環境省（予定）、公益財団法人日本環境教育フォーラム、ESD 活動支援センター、NPO 法人森のようちえん全国ネットワーク連盟、熊本県教育委員会、阿蘇市（予定）、九州地方 ESD 活動支援センター

第一部

自然体験活動指導者研修

11/22(木) 14：00～17：00 | 11/23(金) 9：00～12：00

自然体験活動に様々な立場で関わる指導者に対して実施する専門研修です。
また、CONE トレーナーや NEAL 主任講師、NEAL コーディネーター、NEAL インストラクター等の登録更新が可能です。

自然体験活動上級指導者研修 11/22(木) 14：00～17：00
＊主に CONE トレーナー、NEAL 主任講師を対象
講師 若林 千賀子（若林環境教育事務所）

保険と事故事例研究 11/22(木) 18：00～19：30
＊主に CONE 包括保険加入者を対象
講師 町頭 隆児（オフィステラ）

安全管理者研修 11/23(金) 9：00～12：00
・自然体験活動における安全管理－1
＊主に NEAL コーディネーターを対象
講師 町頭 隆児（オフィステラ）
・自然体験活動における安全管理－2
＊主に NEAL インストラクターを対象
講師 小林 孝之助（セディア財団）

第二部

全体会① 好きを極めた人たちのトークライブ

11/23(金) 13：20～15：00

自然の中でのアソビ（＝自然体験活動）から「好き」と出会い、それを自ら学び「好きを極めた」プロフェッショナル4名のトークライブ。
プロフェッショナルが子どもの頃の自然体験の中からいかにして「好き」なものと出会い、どうやってそれと付き合い、どんなふうに学んできて、それが今につながっているのか？自然の中でのアソビがすべての学びの原点にあることを、その人のライフストーリーの中で熱く語る。

講師 岩間 杏美氏（きのこちゃん）
きのこ大好き、きのこガール。短大卒業後、自然学校職員、地域おこし協力隊を経て、現在きのこを求め日本一周のきのこ旅を続けている。

講師 渡辺 竜已氏（理科教員）
酪農学園大学環境システム学部を卒業後、（株）環境指標生物で動植物の調査員として勤務。退社後は熊本で理科の教員を行っている。

講師 三原 啓資氏（笑竹堂）
1968年岡山生まれ。電力会社、自然学校を経て現在竹細工職人という経歴を持つ。現在大分県由布市の里山で夫婦で自ら山に入り、竹を切り出し、暮らしの道具として使いやすく丈夫なかご作りを続けている。屋号：笑竹堂

講師 浜本 奈鼓氏（くすの木自然館）
NPO法人くすの木自然館代表理事。子どもから大人、障がいを持つ人々など幅広い層を対象に、環境教育、自然教育、野外教育、地域文化教育などの企画、運営など環境学習に関する事業を展開。自然体験活動の最前線に長年関わり九州の環境教育を支えている。

全体会② 自然体験活動の価値ってなんだろう？

11/24(土) 9：00～11：45

今までのフォーラムをふりかえり、参加者の多様な発言を記録・図式化し議論内容の共有化を図る「ファシリテーショングラフィック」手法を用いて、自然体験活動の社会的な価値や役割を再認識すると共に、互いに問いかけ、みんなで語り、世代や経験を超えた共感できる場づくりを目指し、自然と人と社会をつなげる次世代へのメッセージを発信します。

ファシリテーター 渡邉 優美（NPO法人生活と教育）
藤原 美里（お結び farm）
ファシリテーショングラフィック 志賀 壮史（こうのす里山くらぶ）

分科会－Ⅰ

11/23(金) 15：00～18：40

分科会① 人と自然と農をつなぐ“幸せ田舎ごはん”

農家に教わりながら旬の食材を使った田舎ごはんを作ります。おいしい空間の中で、農家や自然体験活動家、そして参加者と語らいながら「食の在り方」を見つめなおします。

講師 浜本 奈鼓氏（くすの木自然館）
NPO法人くすの木自然館代表理事。子どもから大人、障がいを持つ人々など幅広い層を対象に、環境教育、自然教育、野外教育、地域文化教育などの企画、運営など環境学習に関する事業を展開。自然体験活動の最前線に長年関わり九州の環境教育を支えている。

分科会② 「もしもの時のロープワーク」～ツールを活かしてリスクマネジメント～

自然体験活動には、気象の変化、危険生物との接触、地形的悪環境など身体的損傷を伴う危険要素が数多く潜んでいる。これら危険因子に対し、道具と知恵を駆使して安全を確保しダメージを最小限に減らす術を身につける。

講師 薄井 良文氏（WakuWakuOFFICE あそBe隊（ワクワクオフィス アソビタイ） 代表）
1957.6.3 生。東京消防庁から阿蘇消防へ移職。熊本県防災消防航空隊初代隊員。帰任後、阿蘇消防初代山岳救助隊長等を歴任し2015 年早期退職。阿蘇青少年交流の家研修指導員等の経験を活かし、危機管理法やチームビルディング術の講義活動を実践中。

分科会－Ⅱ

11/23(金) 15：00～16：40

分科会③ 発達障がいのある子どもと自然体験活動

学校では通常学級に 6.5%の割合で発達障がいの可能性のある子どもが学んでいます。発達障がい児の理解と支援方法を学ぶことは自然体験活動を安全に進めるうえで重要なことです。すべての子どもの笑顔のために、野外活動における具体的な対応を例にしながら発達障がいについて楽しく学びましょう。

講師 櫻井 康博氏（埼玉大学）
埼玉大学教育学部教授（特別支援教育）。小学校2年生からボーイスカウトに参加、野外活動の楽しさを経験する。現在ボーイスカウト日本連盟では、特別な支援が必要な子どものキャンプ等に取り組んでいる。仕事では、小学校や特別支援学校の校長を歴任した後、長野大学社会福祉学部教授を経て現職。発達障がい児など特別な支援が必要な子どもの指導法が専門。

分科会④ ホップステップ SDGs ～今日からはじめる持続社会づくり～

SDGs とは、Sustainable Development Goals「持続可能な開発目標」として国際的に合意された、2030 年までに達成すべき 17 の目標のことです。自然体験活動につながる SDGs の考え方、活用について参加者のみなさんと掘り下げます。

講師 澤 克彦氏（（社）九州環境地域づくり 代表理事／九州地方環境パートナーシップオフィス コーディネーター）
2004 年より環境教育・中間支援 NPO 役職員として勤務。2007 年 9 月より、九州地方環境パートナーシップオフィス（EPO 九州）業務に従事、現在に至る。2014 年（社）九州環境地域づくりを設立、代表理事に就任。2017 年 7 月に九州地方 ESD 活動支援センターが EPO 九州に併設され、ESD 推進ネットワークにも携わる。

分科会⑤ マジなコミュニケーション力！ コミュニケーションマジック作戦

自然と人との関係において自然体験活動は成り立ちます。その中の人と人とのつながりについてコミュニケーションマジックの手法を通してアソビ、マナビます。そしてマジックグッズをプレゼント！

講師 土居 元氏
（自然体験実践家（自然と人をつなぐ人）・土居自然学校 代表）
今年で、キャリア30年目。組織・フィールド・施設を持たず、自然とのつながり、連携、協同を持って活動を展開していく「土居自然学校」として独立して10年目。一昨年には「もうひとつのがっこう創楽（SORA）」というフリースクールを立ち上げる。

分科会－Ⅲ

11/23(金) 17：00～18：40

分科会⑥ 「聴く」ってなあに？ 傾聴ファシリテーション講座 ～自由で主体的な場のつくりかた～

自然体験活動における聞わり方とは？
より参加者が自由で主体的になれる場づくりの秘訣は、ありのままを聴くにあり！
今回はコミュニケーションにおける聴き方について行います。

講師 戸高 諒氏（一般社団法人 畑とキャンプの自由な学校みんなの学校 代表）
アウトドアブランド moutom 経営。年間50本近くの児童向けフリーキャンプを主催。自身の不登校の経験やこれまでの体験から、自然体験を通して一人ひとりが身も心も自由になる場づくりを実践。自然体験・カウンセリング・学び・つながり・多様性・エンパワメントな場づくりなどで活躍中。

分科会⑦ 竹かごつくり ～竹細工ワークショップ～

竹細工のワークショップになります。しかいなみという竹かごを今回はつくります。講師は竹細工職人として活躍中の笑竹堂の三原啓資さんになります。

講師 三原 啓資氏（笑竹堂）
1968 年岡山生まれ。電力会社、自然学校を経て現在竹細工職人という経歴を持つ。現在大分県由布市の里山で夫婦で自ら山に入り、竹を切り出し、暮らしの道具として使いやすく丈夫なかご作りを続けている。屋号：笑竹堂

分科会－Ⅳ

11/23(金) 18：00～19：30

分科会⑧ 阿蘇の夜・大草原のドキドキナイトハイク！

夜の自然を五感で味わうナイトハイク。ふだんは森の中でやることが多いのですが、阿蘇の大草原の夜はどんな世界でしょうか？開けた大地から宇宙を見る。草原を渡る風、晩秋の冷たい空気は何を語りかけてくるでしょうか？

講師 井倉 洋二氏（鹿児島大学農学部 准教授）
大学の森を活用した森林環境教育と地域と連携した自然学校の活動に取り組む。趣味はナイトハイク。

情報交換会 11/23(金) 20：00～
ワールド角打ち ～はなそう、きこう、つながろう～
夕食を兼ねて実施します。特産品の紹介大歓迎！